



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-83

(2025. 9. 29)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

上席主任研究員 刀禰 和之

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の渉外活動時の熱中症対策

2025
プランニング

ポイント

- 今夏の異常なレベルとも言える気温上昇を受け、信用金庫の間で渉外活動時の熱中症対策が喫緊の課題の一つとなっている。
- 制度面では、改正労働安全衛生規則が2025年6月1日に施行されており、職場における熱中症対策が信用金庫にも義務付けられている。
- 取組時のポイントは、①本部による強いリーダーシップと、②営業現場における柔軟な対応策の組合せである。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、軽装による渉外活動の解禁や、各種冷却グッズの支給、渉外手当の増額などがあった。

(注) 本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修(2025年度&経営層向け)」等の意見交換で得た情報をもとに作成している。

1. 職場における熱中症対策の強化

わが国では2025年7月以降、記録的な猛暑が全国各地で続いている。こうした状況下、FaceToFaceの対面営業を重視する信用金庫にとって、夏季における渉外活動の熱中症対策が喫緊の課題の一つとなっている。また、2025年6月に「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」が施行されており、従業員に対する熱中症の防止策が信用金庫を含む事業者に義務付けられている(図表1)。

(図表1) 事業者の義務(2025年6月1日 改正労働安全衛生規則より)

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられます。

①「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備および関係作業員への周知

②熱中症の恐れがある労働者を把握した場合迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
(1) 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先および所在地等
(2) 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成および関係作業員への周知

対象となるのは、「**WBGT28度以上または気温31度以上の環境下で連続1時間以上または1日4時間を超えて実施**」が見込まれる作業

- (備考) 1. WBGT(湿球黒球温度)は、熱中症予防を目的とした指標
2. 厚生労働省資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 主な対策

渉外活動の熱中症対策についてヒアリングすると、①ポロシャツ着用やビジネスカジュアル導入といった軽装での活動解禁、②経口補水液や日焼け止めクリームといった各種グッズの支給、③渉外手当の増額などがあった。なお、渉外活動時の移動手段（営業車、バイク、自転車、徒歩等）によって、信用金庫の対応に差がみられた。

3. 取組時の留意点

取組時の検討課題は、①本部による強力なリーダーシップと、②営業現場における柔軟な対応の組合せである。渉外活動時の熱中症対策には金庫として取り組む必要があり、本質的には時代変化に見合った営業スタイルの模索が求められる。一方で営業店特有の個別事情などから、営業店長による柔軟な対応判断も不可欠である。

4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2025 年度&経営層向け）」などの意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは図表 2 のとおりである¹。

（図表 2）研修受講金庫のコメント

- 夏場の渉外活動時にポロシャツ着用を可能としている。特に今夏は暑さが厳しかったので、開始時期を 6 月から 5 月に前倒しした。
- 渉外活動に限らず、職員のビジネスカジュアル着用を解禁した。
- 夏季の渉外活動時にサングラス着用を認めた。ただし顧客面談時は NG である。
- ファン付ベストを購入し、渉外担当者に支給した。営業中はベスト着用で顧客との面談も可としている。
- ネックファン（首掛けの扇風機）を導入した（ネッククーラーの導入金庫もあり）。
- 渉外担当（または各営業店）に、経口補水液、スポーツドリンク、塩タブレット、UV ケアクリーム、冷感スプレー、フェイスシートなどを支給した（支給品は金庫により異なる）。
- 渉外担当者によって熱中症対策のニーズが異なるので、夏場の渉外手当を増額した（通常の渉外手当の増額を含む）。
- 熱中症警戒アラートが発出されるような猛暑日は注意喚起を営業店に促す。また、猛暑日の 13 時～15 時の渉外活動を控えるよう指示した。
- 遠方への渉外活動では、バイクではなく極力営業車を使用するよう指示すると同時に、今後は熱中症対策の観点から営業車の導入を加速させたい。

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしておりません）。

経営戦略プランニング研修（2025 年度）

関連レポートのご案内

人事

このほかにも、
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ：<https://www.scbri.jp/>

関連レポートは
こちら



No.	発行日	タイトル
2024-130	2025/1/17	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-18） ー新規採用の強化策ー
2024-131	2025/1/17	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-19） ーアルムナイ採用への取組みー
2024-139	2025/1/31	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-23） ーリファラル採用への取組みー
2024-152	2025/2/28	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-24） ー本部 DX 人材の育成策ー
2024-153	2025/2/28	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-25） ーメンター制度運営時の留意点ー
2024-157	2025/2/28	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-29） ー本部職員の評価制度改革ー
2024-163	2025/2/28	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-34） ー副業解禁への取組みー
2024-176	2025/3/25	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-35） ー人事制度改革への取組みー
2024-177	2025/3/25	信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-36） ー新入職員の営業活動開始のタイミングー
2025-5	2025/4/14	信用金庫の幹部候補生の育成策
2025-6	2025/4/14	信用金庫の若手職員のエンゲージメント改善策